

あれこれ

2021年 第3号-1

令和3年度第3回建築女子フォーラムin白鷹 R3.11.13(土) 大会テーマ MOKU もく ~今昔物語~

今年度の担当はブロック2でしたが、長井支部の守屋さんの采配で、白鷹町を堪能する開催となりました。コロナ禍で縮小での開催でしたが、28人、子供5人を含む33人の参加でした。参加のみなさん大変ありがとうございました。10時に白鷹役場(複合施設)に集合、見学のあと、12:30よりコース①353kurogamo(7人)、コース②NIPPONIA白鷹源内邸(19人、内子供4人)、コース③くらしnoie族mabushi(7人内子供1人)に分かれランチ及び見学をしました。フォーラム報告です。

「白鷹町まちづくり複合施設」見学

令和3年11月、秋晴れの中、白鷹町にて第3回 建築女子フォーラムが開催されました。午前部では、町役場でもある「白鷹町まちづくり複合施設」を見学しました。「令和2年度木材利用優良施設コンクール」にて内閣総理大臣賞を受賞され、県内外から注目されています。

木造の大規模建築物という最先端技術が用いられているだけではなく、町の木材を利用した点でも高い評価を得ています。当日は、市の方の案内で、町の山林から、建設材料となる木材を伐りだし、搬出し、加工するまでの一連のお話を伺うことができました。建設生産工程がより吟味され、町の林業とともに自然環境の保全につながっていくことに大きな意義を感じました。

また、木製の家具も細やかな配慮が行き届き、温かみがありました。お年寄りから小さなお子様まで、誰にでも使いやすく、時には遊び心をくすぐられる仕掛けがあり、ほっこりさせられました。

力強い構造体と優しい家具の木材に包まれた空間を堪能しながら、明るい未来を感じた見学会でした。

(担当:阿部裕子)



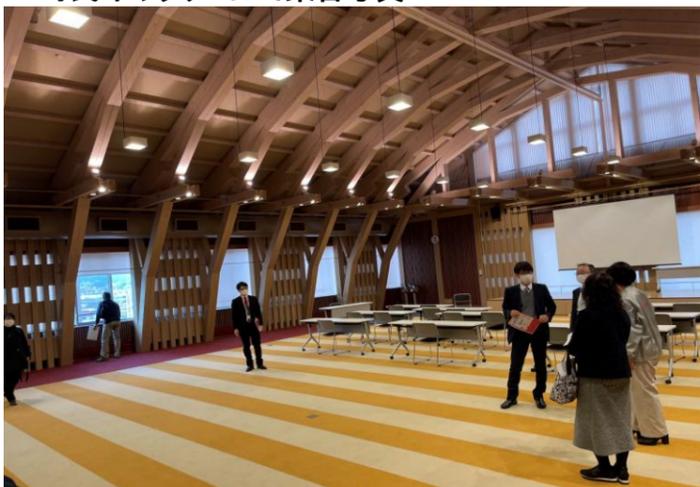
△図書館の子供用テーブル



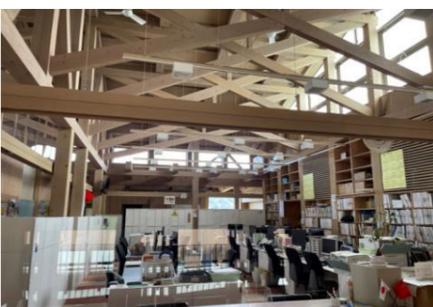
町民ギャラリーの一角の遊びコーナー △



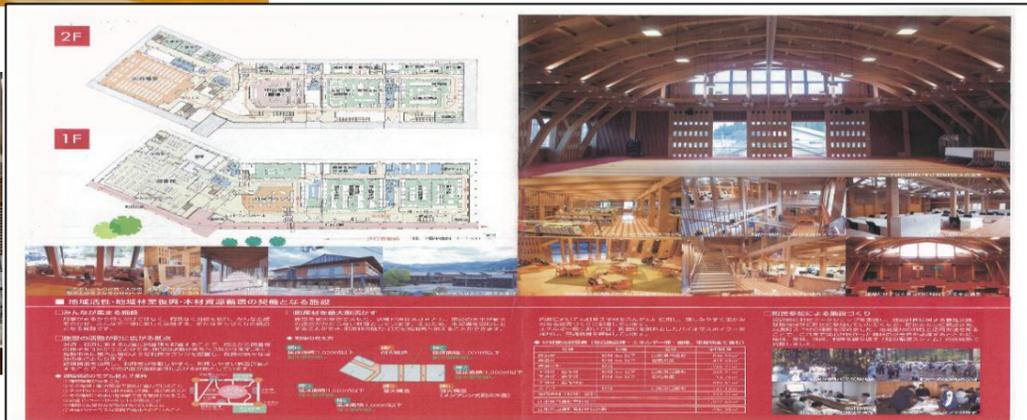
△町民ギャラリーにて集合写真



△大集会室



△2階各課窓口



コース③ 「くらしnoie 族 mabushi」

民泊×コミュニティ×スペース×カフェ 築150年古民家
白鷹町大字中山830



山の中を少し走ると長閑な景色の中に「族」が現れてきます。こちらの古民家は、隣接する神社「熊野神社」の代々神主さんのお宅で、昔から地域の人が沢山立ち寄る場所であったそうです。

地域おこし協力隊である女性2人が買い取り、民泊×コミュニティ×スペース×カフェを始められました。

族(まぶし)とは、養蚕で使う道具のひとつで、蚕が繭を作り、蛹、蛾になるための「変化」を待つ神秘的な空間、そして、絹の「はじまり」の場所です。この族の役割のような「変化」と「はじまり」が起こる場所をここに来る方々と一緒につくっていきたい、「人と暮らしに会う家」をコンセプトに地域に根差した宿を目指しておられます。地域の人々がふらっとお茶のみに寄れる場所でありたいという想いで、真ん中に土間を作ったそうです。

この日は、若い女性を中心に沢山のお客様が来店されていました。田舎の祖父母の家に来ているかのようなホッとする居心地の良い空間です。



民泊は現在休業中とのことで宿泊部分の見学は出来ませんでしたが、古民家のもつ歴史を感じながら、素材にこだわったおいしい食事を頂きました。冬期間のお休みが終わる頃また訪れてみたいです。(担当:吉澤真澄)



おみやげ
自家製
トマトジュース
大豆お茶
はがき
バック

フォーラムの原稿をお願いした
コース①山形支部 原田江美子さん
コース②長井支部 小笠原華奈子さん
コース②の写真頂きました
天童支部 情野由華さん
大変ありがとうございました。
また、発行が遅れました事、重ねてお詫び致します。みなさんの協力のおかげで発行出来ました。今回米沢支部のみみんなで作成したあれこれです。ありがとうございました。
米沢支部 村山紀子



除草隊のやぎさんがいます



レストラン表札
Matoi

あれこれ

2021年 第3号-2

コース② 「NIPPONIA 白鷹源内邸」

民泊×カフェ 築444年 古民家
白鷹町大字浅立 183-1



レストラン



宿泊棟 1

白鷹町の南に位置する田園に佇む源内邸は、明治～大正に建てられた邸宅に手を加えずに古い形で、お庭も含めて現代に残し、季節を感じながら、心や体を癒す場として再生されたように感じました。女性部の方々の中にもリノベーションのワークショップに参加された方がいらっしゃったようですが、オープン前から色々な取り組みを通して再生され、地元の方には、ここがこんな風に生まれ変わるのか～、と思わせる、そんな建物群となったようです。味噌蔵と農具置き場だった場所は、2階があった所を取り払い、広い吹抜空間のダイニングに生まれ変わり、そちらで昼食を頂きました。地元の食材を使っていることから、地域との繋がりも大事にされていることが伺えました。盛り付けもオシャレで、目でも楽しむ豪華なランチタイムでした。



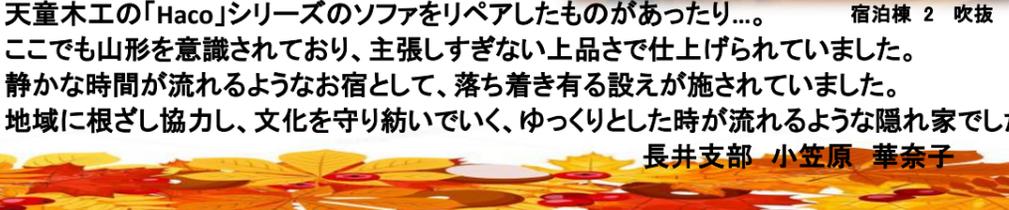
宿泊棟 2

ランチの後はリトリートホテル＝隠れ家を見学。米織の壁紙をあしらった床の間が印象的でした。天童木工の「Haco」シリーズのソファをリペアしたものがあつたり…。ここでも山形を意識されており、主張しすぎない上品さで仕上げられていました。静かな時間が流れるようなお宿として、落ち着き有る設えが施されていました。地域に根ざし協力し、文化を守り紡いでいく、ゆっくりとした時が流れるような隠れ家でした。

長井支部 小笠原 華奈子



宿泊棟 2 吹抜



レストランホール



料理



レストラン 吹抜



コース① 「353 kurogamo」

ゲストハウス×カフェ 築120年 古民家
白鷹町大字黒鴨 353



午前中の真新しい白鷹町庁舎の見学の後は、お待ちかねのランチです。白鷹町の中心部から車で15分程山間に向かうと353kurogamoに到着します。店名の由来は 白鷹町黒鴨353番地にある店だから。とても分かりやすいですね。築120年ほどの古民家をリノベーションし2019年4月にカフェ&ゲストハウスとしてオープンしました。

普段はランチセットやパンケーキ、サイフォンで煎れたコーヒーなどがいただけますが、今回は建築女子フォーラムのため特別に「チューボーですよ！」のフードコーディネーターの田中優子さんをお迎えし、白鷹町の季節の食材を使ったスペシャルメニューをいただきました。

- ・前菜7点盛(レンズ豆サラダ、キッシュ風オムレツ、レバーペーストカナッペ、ミートローフ、フルーツ生ハム巻、ピクルス、ピーナッツバターとブラックペッパーのカナッペ)
- ・シーフードマリネサラダ仕立て
- ・チキンとキノコのトマト煮込みショートパスタ添え
- ・レアチーズスフレ フルーツ添え
- ・珈琲とトリュフチョコ



店内にはジャズが流れ心地よく、料理はどれも美味しく、お腹も心も満たされた充実の一日となりました。
山形支部 原田 江美子



コース①、②編集
後藤さやか
取り纏め村山
編集の都合上順序逆になりました。

